

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	単純 CT 画像を用いたヘモグロビンおよびヘマトクリット値の算出
研究責任者	放射線部 柘植新輔
研究実施体制	聖隷浜松病院
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2026 年 5 月 31 日
対象者	2022 年 1 月から 2026 年 5 月までの間に聖隷浜松病院循環器科または心臓血管外科に通院または入院し心電図同期 CT 検査を実施した患者さん
研究の意義・目的	現在、心筋の機能評価として細胞外容積分画(Extracellular Volume fraction: 以下 ECV)が CT でも評価することが可能になってきました。ECV 算出には CT 検査の 24 時間以内に採取されたヘマトクリット値(以下 Hc)が必須であり、CT 検査当日に採血をしなくてはなりません。CT 検査では造影前の単純 CT を撮影しており、この単純 CT より Hc を算出することができれば検査当日の採血をすることなく ECV の算出ができるのではないかと考えました。本研究は CT 値とヘマトクリット値に関係があるか検討することを目的としています。
研究の方法	1 心電図同期で撮影した単純 CT にそれぞれ 8 箇所(左心室・左心房・上行大動脈・下行大動脈・上大静脈・下大静脈・肺動脈・右心室)に関心領域(以下 ROI)を設定。 2 各 ROI の値を組み合わせ Tukey 検定にて各 ROI の値に有意差がないか確認。 3 有意差がなかった ROI の組み合わせより平均値を算出。 4 算出した平均値と Hc およびヘモグロビンの値をピアソンの相関係数より相関の有無を確認 5 関係式にて CT 値から Hc を算出し、採血の Hc と比較。 6 CT-ECV と MRI の遅延造影もしくは MRI-ECV と比較。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 放射線部部 (氏名)柘植新輔 TEL:053-474-2222(代表) 放射線部 9:00～17:00 平日